

発電所からのお知らせ

2021年10月19日

- 1, 2号機: 廃止措置中(第2段階)(2016年2月3日～)
 - ・「[浜岡原子力発電所1, 2号機 廃止措置状況\(2021年度第1四半期\)](#)」をご覧ください。
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
 - ・原子炉内の放射能濃度を測定するために日本核燃料開発株式会社(以下、「NFD」という。)にて加工していた2号機 原子炉内採取試料を、10月12日にNFDより輸送し、10月13日に浜岡原子力発電所に搬入(A型輸送物(注)に該当)しました。その後、輸送用空容器(L型輸送物(注)に該当)を10月14日に浜岡原子力発電所から搬出し、10月15日にNFDに輸送しました。
- 3号機: 定期検査中(2010年11月29日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
- 4号機: 定期検査中(2012年1月25日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
- 5号機: 定期検査中(2012年3月22日～)・安全性向上対策実施中(地震・津波・重大事故対策等)
 - ・検査状況については、「[点検情報](#)」をご覧ください。
- その他
 - ・2021年10月23日に、作業のため、浜岡幹線送電用鉄塔および第二浜岡幹線送電用鉄塔に設置している航空障害灯の消灯を予定しております。なお、当日の天候により延期する場合があります。

注 放射性輸送物は、収納する放射エネルギーなどによりL型、A型、B型に分類されます。A型輸送物は、放射性物質の収納量を一定量に制限するとともに、通常予想される出来事(降雨、振動、取扱中の衝撃)に対する強度を持たせて安全性を確保する輸送物です。L型輸送物は、放射性物質の収納量を極少量に制限(A型輸送物よりも極少量に制限)することにより、その危険性を極めて小さなものに抑えた輸送物です。

以上